

学校教育目標
重点目標

「つよいきずなで よさをのぼそう」
「すすんで やる子」



子どもたちの学びのすばらしさ

校長 望月 秀一

朝夕に涼しげな虫の声が聞かれるようになり、秋の訪れを感じる季節になりました。子どもたちは、朝運動で学級ごと長縄の八の字跳びに挑戦し、仲間と声を掛け合いながら記録を伸ばそうと頑張っています。前期の終業式が10月6日に迫り、後期につなげる大切な時を過ごしています。

5年生は、9月7～9日にかけて、吉永二小の5年生と一緒に2泊3日の「みどりの学校(宿泊行事)」に取り組みました。この行事は、富士市が誇る自然豊かな丸火自然公園内で、学校を離れ、仲間と生活する中で自然のすばらしさや仲間の良さを学んでいく体験活動の一つになります。

子どもたちは、様々な活動に取り組みましたが、一番良かったことは、一人も体調不良を訴えず、全ての子どもたちが全日程に挑戦できたことです。家族から離れ、仲間と宿泊することや環境も一変するので体調を崩してしまうも見られる「みどりの学校」ですが、全員が3日間元気に過ごせたことは、保護者の皆様の事前の体調管理への配慮があつてのことだと思います、ありがとうございました。

就寝前には班長会議がありました。私もその会議に参加しました。班長から「沢登りで遅れてしまった子へ声を掛けていて、学校では見せない良い面が見られた。」「5分前行動ができていて、学校で生活しているよりも良かった。」「けんかした時もあったけれど、明日は協力していきたい。」どの子の眼差しも輝いていたのを覚えています。仲間の良さを発見し、それをみんなの前で伝えることができた子どもたちに拍手を送りました。学校教育目標は



「つよいきずなで よさをのぼそう」です。仲間の良さに気付けた子どもたちは、互に認め合うことができるようになり、強い絆で結ばれていくと思います。子どもたちのいい動きは日を追うごとに良くなり、2日目の朝掃除は、職員の方から「他の学校の3倍くらいきれいになってすばらしい。」と誉めいただきました。3日目は、6時40分からの清掃の前に荷物の片付けと移動がありましたが、早く終わった子どもたちは自分たちで考え、掃除を予定時刻より早く始め、素早く、丁寧に取り組むことができました。さらに、飯盒炊飯も、自分の役割をしっかりとこなし、手際よく進めたことで予定より早く昼食を食べることができ、片付けもしっかりできた子どもたちでした。子どもたちの顔には、やり遂げた自信が感じられました。

3日間を振り返って、子どもたちが仲間の良さに気づき、自分たちで時間を意識しながら行動できたことが最大の学びになりました。帰校式で子どもたちに伝えたことは、みどりの学校の学びを学校生活につなげてほしいと話しました。最後になりましたが、沢登りやオリエンテーリングでサポートしていただいた保護者の皆様、ご協力をいただきましてありがとうございました。5年生の仲間との絆から得られた学びが、他の学年にも広がっていけるよう支援していきたいと思ひます。